

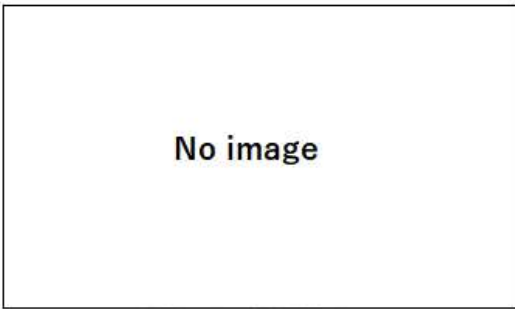
発行所 青森県高等学校・障害児学校教職員組合 青森市磯本1丁目2-25 教育会館017(734)7287 編集発行人 酒田孝 購読料一部20円は組合費の中に含む

今月の紙面 1面~2面:教育長懇談 2面:プチ教育情報コーナー 3面:集会報告 4面:全教共済広告 \*HPへはこちらから→

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ http://aokokyoso.g2.xrea.com/ ブログ http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/

# 今後の教育課題についての懇談

9月17日、高教組四役と教育長の懇談が行われました。今回は主に3つの課題について話し合われ、それぞれの課題について双方の基本的な考えを確認しました。懇談の中で教育長は「少しでも学校現場で先生方が頑張れるように応援していくのが私の立場だと思っている」と述べました。今回は交渉ではなくあくまで「懇談」であるため、正式なものではありません。具体的な要求については、今後の統一要求書交渉で進めていきます。



高教組四役と和嶋教育長。

## ①臨時講師の年金問題についての見解は?

(高教組) 要求書を提出したが、回答がない。教育長の考えや県議会での予算請求について、考えを伺いたい。  
(教育長) 昨年度から今年度にかけて、臨時講師の先生方の待遇改善に取り組んできた。その中で新たな雇用となったと考えて、このような取り扱いとした。臨時講師の先生方への思いとして、待遇改善を進んでやってきたつもりだ。要求書は、拝見している。これについては、厚生労働省の方にきちんとした見解を伺いたいと思っている。  
(高教組) 厚生労働省にぜひ問い合わせさせていただいて、確かめていただきたい。これについて、県議会議員の方に相談して

## ②「1年単位の变形労働時間制」導入の有無は?

(高教組) 「变形労働時間制」について、状況も変わってきているが、どうか?  
(教育長) 今年の7月に文科省の方から、給特法を一部改正したが、1年単位の变形労働時間制を適用するにあたっては前提条件をクリアしたうえで適用対象としてくださいということだ。私たちが考えなければならぬのは、4月に「働き方改革プラン」を作った、始めたところなので、そのプランに則って、年間360時間以内、または月45時間以内の実現を目標にして、まずそこに取り組むべきであろうと思う。国は確かに給特法を変えたが、県が条例を作って、学校に向けてやれというものではなくて、どちらかというと、ボトムアップ的に、学校で条件が整っているからやれる状況になり、やりたいという話の中で適用されるものであると考えている。その声が上がった時のための準備を、例えば条例化をする必要があるかどうかはこれからのことになる。  
(高教組) 文科省からは来年度の4月には条例化をしていくための手引きが7月に出ていると思

## ③新型コロナウイルス対応を踏まえた少人数学級の実現は?

(高教組) コロナに関しての状況はすぐになくならない。来年度もその次も新しい状況で学校の活動を続けていくし、我々も働いていかなければならない。  
(教育長) 条例化はやるという話ではないか? やるというべきは「働き方改革プラン」であるか? と思っている。  
(高教組) 文科省は休みのまじめどりのためにやりますと話している。開庁日の設定などで先生方がまじめどりができているとなると、別に導入しなくてもよくなるという考えもある。手引きによると、今年の9月議会での条例制定とある。条例制定の準備は必要だとお考えか?  
(教育長) 今やりたいという声が届いているわけではない。声が出た時には、またそういう話もあるだろう。国はできるといふスケジュールで示しているというので、9月議会での条例制定というように考えていない。やりたいと話があった時に、やるために県で条例を作っておかなければ困るということもある。そのためにそういうことも必要になるかもしれないと考えている。

## 坂道の風

どんなにやりがいのある仕事でも、長時間労働が続くとガス欠状態になる▼学校では、工数管理が適切に行われているのだろうか。各業務を構成するタスクの作業量を把握し、必要な人的資源の質と量を算出する。やるべき業務が増えれば、人員を増やす。一人の人間が一定の時間に行える仕事の量は限られるからだ。工数管理をすれば、コスト(主に人件費)の算出と適正な人員配置が可能だ▼学校では、業務が増えなくても職員は増えず、無償で働く労働時間が増える。公平な作業分配が行われていなければ、一部の人間に負担のしかかる。何人分もの作業を必死でこなす。ミスがあれば責任を負う。県教委や管理職は、時間外労働記録簿を、業務内容の見直しや、適正な人員配置と作業分配のために活用しているだろうか▼生徒達のためになることなら、どんどんやりたい。でも、健康も家族との時間も大事な。その両立は、私達の気合いと技量だけでは実現できない。(弥生)

\*2面に続く。

教職員、生徒の不安感に対しての具体的な対応を求め、要望書を出した。今後の取り組みは？

(教育長) コロナについては、わからないことに対する不安が大きかったのではないかと。少しづつコロナに対しての知見も出てきているが、まだ完全な知見やワクチン、治療薬ができていない中で、児童生徒たちに感染させてはいけないというところで先生方が苦勞している、自分たちもかかっては大変だからという不安もあることは承知している。PCR検査や抗原・抗体検査については、その時点で感染しているかがわかるだけでなく、一時的なものではない。そういった意味では、

No image

教育課題について話し合いました。

国や県の健康福祉部の考えと同じで、不安解消のための検査としてのPCR検査ではないととらえている。県教委として教職員、児童生徒の不安解消のためにということに関しては、次々と新しいもの、例えば新しい生活様式に基づく、学校の生活マニュアルとかをお伝えしながら、子どもたちにそれを説明していくことが必要と思っている。何かあった時には、その状況に応じて様々な形で不安解消に努めることを学校と一緒に取り組んでいかなければいけないと思っている。(高教組) PCR検査の在り方など、不安解消については、県当局と県民の間には差があると感じており、それが学校現場にもいまだに残っている。学校の中で新しいライフスタイルを作っていくかという点について、主体的に対話的な授業などスタンダードな授業ができない。長い目で考えると少人数学級にしなければならぬと思うが、どうだろうか？

夫されている皆さんには感謝したい。その中で、学習集団を小さくするという話も分かるが、標準法の問題もあり、人数が減ると先生の数も減ってくるということにある。そのところは、これからどういう形で教育活動をしていけばいいのか、ということを真剣に考えていかなければならない。新しい生活様式も今後知見によってどう変わるかによって対応していかなければと思っている。(高教組) 少人数学級については、国の方でも骨太の方針など様々なところで予算措置などの声が上がっている。予算がついて、仮に標準法が改正されていったら青森県でも少人数学級を進めていく方向に舵を切れると考えているのか？

いところを突かれて、今更整備が遅れていたところ。これを機会に、ぜひ良い方向に進めていただきたい。

# 7千教育情報コーナー

## スポーツ庁から部活動改革についての通知発行

スポーツ庁は、9月1日に「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」の通知を全国に送付し、それを受けた県教育委員会は9月8日に各県立学校に通知しました。現時点では、県でどのように取り組むかの具体的な方針は示されていません。

## 9月県議会でエアコン設置へ補正予算計上

9月の県議会で提案された補正予算に、県立の高校や特別支援学校高等部の計61校996教室への、エアコン設置についての予算43億3753万円が盛り込まれています。マスク着用による熱中症リスク軽減のためとして、21年度末までの整備完了をめざすとしています。学習環境の整備に大きな前進です。

## 特別支援学校設置基定へ、中教審中間まとめ公表

中教審の初等中等教育分科会は9月28日、議論の中間まとめを公表しました。その中で、特別支援学校の

No image

## 採用試験結果通知日延期

教員採用2次試験の結果通知が、10月26日から10月30日に延期になりました。適性検査の判定を依頼した首都圏の業者が、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、人練りに制約があり、判定に時間を要するため、としています。

## お願い

皆様のお手元に、「教職員・要求意識アンケート」が届くかと思えます。お忙しい中恐縮ですが、協力できる方は、アンケートご記入のうえ、各校の分会長へお渡しください。

### 『夏の教育実践講座』 『コロナ禍の今こそ、 学校や学びを見直すぞう!』

8月29日、県教組と共に「夏の教育実践講座」が開催されました。新型コロナウイルス感染症防止策を取り、さらにオンラインでの参加もありという、初の「ハイブリット集会」となりました。講座1は「コロナ禍で学びを問い直す」と題したシンポジウムで、弘前大学教育学部教授宮崎充治氏を講師に迎え、県内各地の先生方がシンポジストとして参加しました。シンポジストの先生方は、一斉休校から学校再開、学校の現状を現場からの生の声で語ってくれました。授業時数確保、

No image

ハイブリットな形態で行われた学習会

急速なICT活用、教員の負担増などの問題が明らかになりました。宮崎先生は、「危機の中に本当に大切なものが見えてくる」「学校はいつだって誰のものか?」「子どもの声を聴くこと」「何を育てるのかを押える」などの視点から学校や学びを見直してはどうかと話されました。講座2は、主に養護教員の皆さんが参加し、「いじめ」について学びを深めました(講師は東京からZOOMで参加し、オンラインでつないだ新しい形態で実施しました)。高校分科会では、コロナ禍の中で、高校現場がどうなっているかの話し合いをしました。それぞれの学校でのコロナ対応を話し合いましたが、その中で修学旅行への対応(主にキャンセル料など)のことが話題にあがり、県への確認対応を求めたいと話していました(この件について9月9日に県教委から通知が出ました)。

特別支援教育分科会では、小学校の通級指導教室

担当者から、「算数障害の児童・生徒の支援」についての事例報告がありました。児童・生徒の発達・認

### 『9・3中央行動』 えがお署名95,382筆提出! 少人数学級実現へ大きく踏み出しました。

9月3日、オンラインでの「えがお署名提出文科省前行動」に参加しました。この中央行動は、例年夏に行われていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受けて、開催時期を延期した上で、首都圏団体のみが発地に集合し、地方からはオンラインでの参加とし、オンラインを含めて140名が参加しました。

文科省前で、情勢報告・連帯挨拶・オンラインを交えての全国からの発言などがありました。少人数学級実現の声が広がり、政府・文科省を動かしているが、

No image

知特性を踏まえて指導することの重要性を改めて確認することができました。

安倍首相の辞任によりどうなるかは不透明、また今年度の概算要求とりまとめはこれからといったこともあり、更なる声の集約が必要と報告されました。署名は本日提出分で95,382筆でした。集会の最後は「シユビレヒコール」でしたが、オンライン参加だったので、一人PC画面に向かって声をあげるのには、若干の違和感を感じました。

その後、オンラインでの「目指せ20人学級院内集会」に参加しました。こちらも、現地参加とオンライン参加があり、両方合わせ

て100名の参加名加工(一部)画面の報告・国勢報告・全国からの発言がありました。

少人数学級の実現については、様々な方面から声が上がっており、まさしく正念場になってきていることが語られました。特に少人数化を求める教育研究者有志の鈴木さんの発言が良かったです。この中で、「早急に少人数化を進めると、教

### 2次試験に向けて大きな収穫!

9月5日、教員採用試験対策講座「虎の穴オープン」2次試験対策講座を開催しました。開始の時点で既に28人の参加があり、しかも、半分以上の方が初めて参加の方でした。逢坂先生からの概要説明の後、小論文演習・添削と模擬授業演習が時間いっぱい行われました。緊張している人、活発に質問する人、たくさんいらっしやいました。一人一人に大きな収穫があったのではないのでしょうか。お昼過ぎにはさらに参加者が増え、最終的には40人弱の参加者が会場にいて大盛況でした。そして、9月19、20日には、最後の直前対策講座として「虎の穴3」を開催し、最後の確認をしました。

1次試験の合格発表から2次試験本番までは長い

No image

員の成り手がなくなり、安直な教員養成や教員の人材派遣(人材派遣業者を通して)が生じるかもしれない。子どもの学びの質の保障を忘れないでほしい」としたことは押さえておく必要があると思います。

ようやく短いですが、その中で2回の講座を受講した皆さんには大きな収穫があったと思います。私たち高教組は、「教育に臨時はない」を合言葉に、臨時講師の皆さんの待遇改善や早期の正規採用を求め、臨時講師の皆さんを応援しています。ぜひ、組合の輪に加わってください。

最後の追い込みに励む塾生たち。

コロナ禍 応援  
 総合共済 加入者倍増計画 2020年度  
 パワーアップ

# みかんキャンペーン

職場で総合共済に 3人以上加入すると

すでに加入している人  
 全員に

どどん!



※写真はイメージです。

みかんひと箱 プレゼント



★キャンペーン期間 2020年12月15日まで

Q どうすればもらえるんですか?

条件…職場内で総合共済に3人以上加入 …これだけです!

例:すでに、4人が何らかの共済に加入済み、新たに3人加入すると  
 職場にみかん7箱が届きます!!



申し込みは、QRコードでも  
 受付中!!



さあ! 皆さんで  
 申し込みをしよう

★ お問い合わせ先

〒030-0823  
 青森市橋本一丁目2-25 5F  
 青森県教職員共済会  
 TEL 017-732-1375  
 FAX 017-732-1376

zenkyo